

No132 東日本大震災から6年を前に ニューヨークで追悼集会



[2017年03月06日 NEWS WEBより]

<http://www.asiaq.net>

レッスンの前に、必ずニュースを聞いてください。

上級者向け・・・リンクが削除されている場合は、2ページ目を参照ください。

<http://www3.nhk.or.jp/news/html/20170306/k10010900181000.html>

レッスンを始める前に

- ・ニュースを聞き、内容をしっかりと読んでください。
- ・分からない単語は、辞書で調べてください。
- ・一人で音読できるように、練習をしてください。
- ・ニュースの感想を考えてください。

レッスンの進め方

1. 先に講師が読みますので、後に続いて読んでください。
2. 分からないところを質問してください。
3. 内容に対し講師が質問をしますので、答えてください。
4. このニュースが伝えたいことは何か、簡単に説明してください。
5. ニュースを見て思ったこと、感じたことを話しあいましょう。

レッスンの注意点

いっぱい話しましょう。間違えても構いません。

わからないところ、疑問におもったところはどんどん質問しましょう。

間違えたところはメモを取り、レッスンの後に復習をしましょう。

No132 東日本大震災から 6 年を前に ニューヨークで追悼集会



[2017年03月06日 NEWS WEBより]

<http://www.asiaq.net>

～上級者向け ニュース記事全文～

東日本大震災から 6 年を前に ニューヨークで追悼集会

東日本大震災と東京電力福島第一原子力発電所の事故から 6 年になるのを前に 5 日、アメリカ・ニューヨークで、犠牲になった人たちを追悼する集会が開かれ、集まった人たちが被災地に思いをはせ、復興を願いました。

集会は、ニューヨーク在住の日本人の呼びかけで開かれ、マンハッタンにある教会には 400 人余りが集まりました。

集会ではまず、震災の犠牲者に黙とうをささげたあと、被災地に住む人々からのビデオメッセージが流されました。

続いて、福島県浪江町に江戸時代から伝わる伝統の「大堀相馬焼」の窯元、松永武士さんが、原発事故のあと、工房が帰還困難区域に入り続けられなくなり、別の場所で復活させた経験を語りました。この中で、松永さんは、焼き物を買った人から「故郷を思い出す」と声をかけられた経験に触れながら、「大堀相馬焼を続けることで、浪江町を人々の心の中に残していきたい。そして、ほとんどの福島の人たちはふだんどおりの生活をしていると知ってもらいたい」と訴え、集まった人々から大きな拍手が送られていました。

集会に参加した東日本大震災の揺れを東京で体験したという、ニューヨーク在住の女性は「被災地のことを忘れないようにしようと参加しました。まだ自宅に帰れない人もいて大変だと思いますが、復興に向け一步一步進む姿をニューヨークから応援しています」と話していました。